

## 110円台回復後のドル円相場、ドル高の流れは続くか?

**ド**ル円は5月に入りドル高が進み、一時4か月ぶりとなる111円台を回復。足元はやや下落したものの110円台半ばにある。米経済・物価指標の改善や原油高を受けた米金利上昇がドルの追い風になった。2月に米金利が上昇した際には米株価が崩れたことでリスク回避的な円高が進んだが、今回は米経済への自信を背景に米株価が持ちこたえ、素直にドル高が進んだ。

今後中期的には円安ドル高基調が続くと予想されるが、しばらくはドル高の勢いが一服しそうだ。堅調な景気を背景とする米利上げ加速観測がドル高圧力となる一方、中間選挙を控えたトランプ政権は今後も通商・外交面での対外強硬姿勢を崩さず、リスク回避的な円買い局面が増えるだろう。また、7月以降は金融政策正常化に向かうユーロが底入れすることで、対ユーロでのドル売りがドル安の色彩を演出しそうだ。3か月後の水準は現状比概ね横ばいの110円程度と予想している。

ユーロ円は、ユーロ圏の経済指標悪化やイタリア政局への警戒から下落し、足元は130円付近にある。しばらくはユーロの低迷が続くそうだが、経済指標の悪化は一時的とみられ、ECBはそのことを確認したうえで7月に量的緩和の再縮小を決定する可能性が高い。ECBの金融政策正常化に市場の目が向かいやすくなり、ユーロが底入れするだろう。3か月後の水準は133円程度と予想している。

長期金利は、米金利上昇を受けてやや上昇したが、日銀の国債買入れが上昇を抑制する形で足元は0.05%付近にある。米債ヘッジコストの高止まりも円債への需要に繋がり、金利上昇を抑制している。今後も当面はこの構造が続き、長期金利は小動きの展開が予想される。3か月後の金利水準は現状比で横ばい程度とみている。

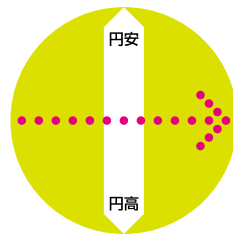


シニアエコノミスト **上野 剛志**  
 うえの つよし | tueno@nli-research.co.jp  
 1998年日本生命保険相互会社入社、  
 2001年同財務審査部配属、  
 2007年日本経済研究センターへ派遣、  
 2008年米シンクタンク The Conference Boardへ派遣、  
 2009年ニッセイ基礎研究所(現職)。

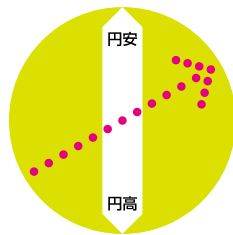


# Market Karte

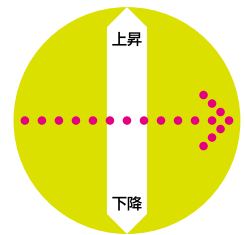
June 2018



ドル円・3か月後の見通し

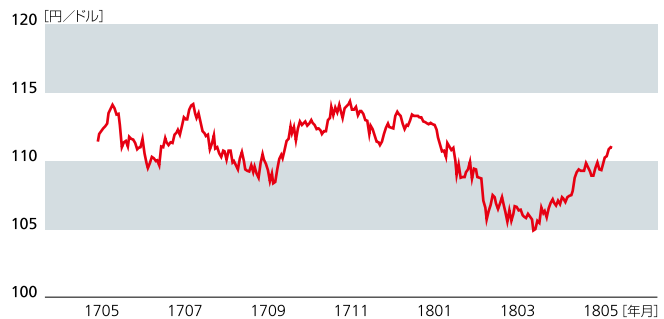


ユーロ円・3か月後の見通し

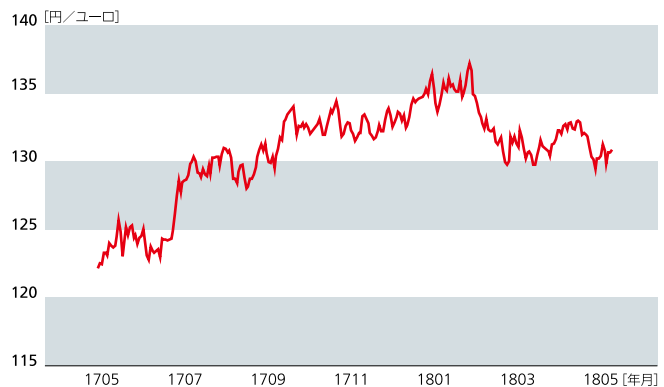


長期金利・3か月後の見通し

ドル円為替レートの推移 [直近1年] 資料:日本銀行



ユーロ円為替レートの推移 [直近1年] 資料:ECB



長期金利(10年国債利回り)の推移 [直近1年] 資料:日本証券業協会

